

植生の保全回復に係るノヤギ対策

平成28年12月22日
東京都小笠原支庁

資料3-4

■事業背景と概要

・ノヤギの摂食・踏圧等による「在来植生衰退」、「希少種への悪影響」

⇨ノヤギ排除に伴い抑制されていた外来植物の繁茂を確認。

・暫定的に昨年度より、一定程度捕獲圧を下げて排除作業実施。

<平成28年度>

・ノヤギ排除作業に伴う自然環境モニタリング

・ノヤギ排除作業：銃器⇒15日間程度実施

首くり罠⇒11月～2月に実施

⇒現在、35頭排除(平成28年12月15日時点)

・ノヤギ摂食試験：ノヤギがどのくらい外来植物を食べるのか計測。

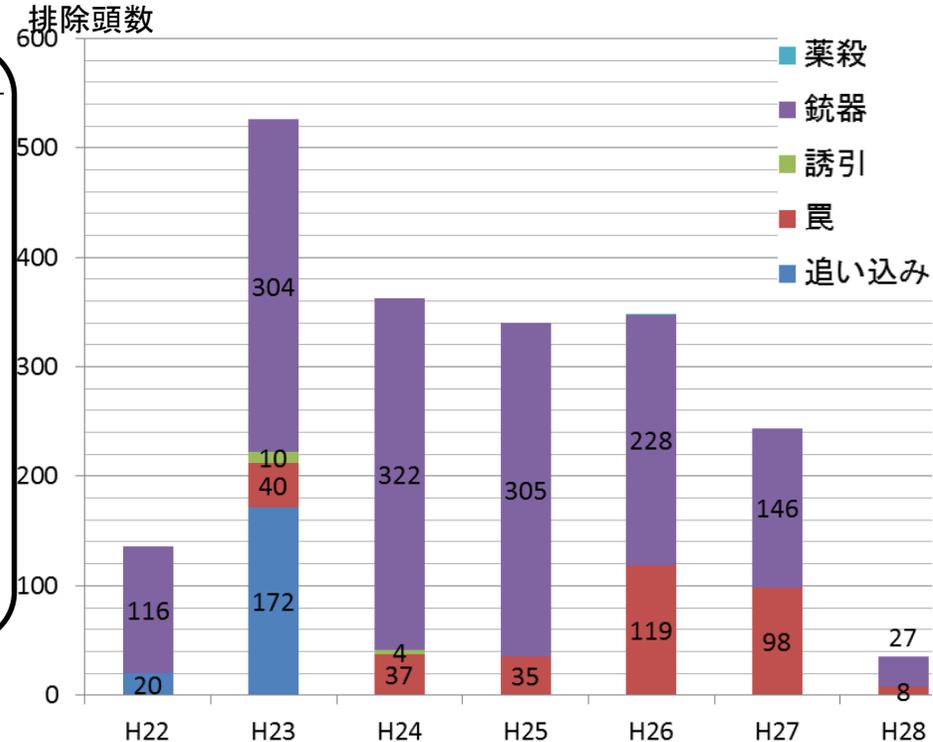


図 ノヤギ排除数(東京都事業のみ集計、H28年12月15日時点)

■ノヤギ根絶後の植生の変化

排除前(1997年4月)



根絶後9年(2008年9月)



図 ノヤギ根絶前後の植生の回復例(蝶島の例)



図 摂食試験調査区



図 ギンネムを食べるノヤギ

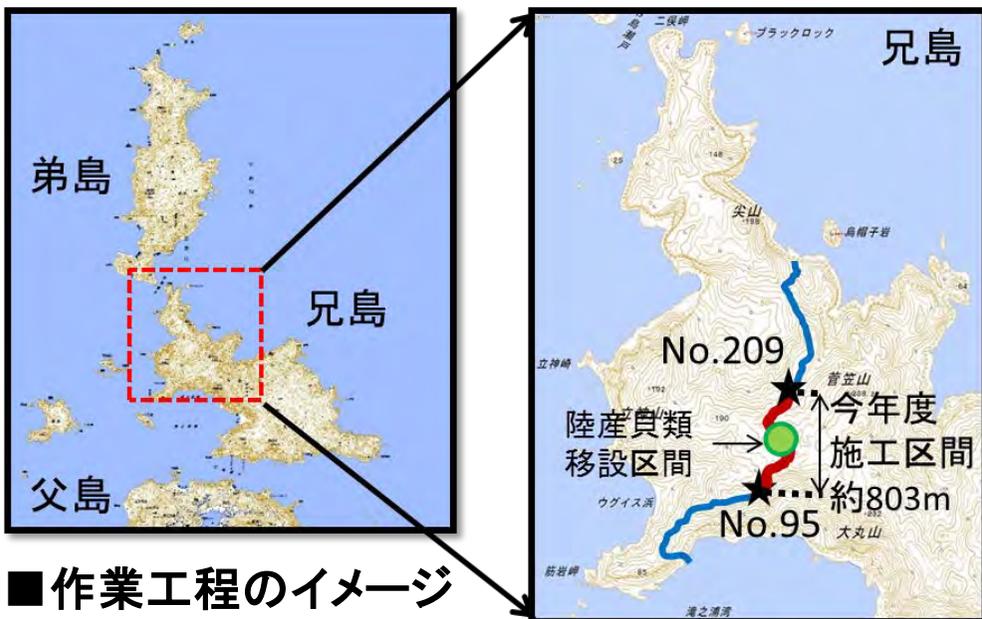
兄島アノールCラインの施工について

平成28年12月22日
東京都小笠原支庁

資料3-5

■事業概要

- ・訪花性昆虫と虫媒植物との関係及び乾性低木林保全のため
⇒北西部にグリーンアノール侵入防止柵(Cライン)の設置
- ・平成28年度施工延長:約803m (Cライン総延長:約2.4km)



■作業工程のイメージ



図 ヘリコプター資材運搬
(運搬用具にはお酢を散布)



図 資材運搬後の養生
(プラナリア検出板も設置)



図 支柱の建込作業
(貴重種に留意しライン決定、支柱建込)



図 ネット据付状況
(接続部分は丁寧に施工)

■現場状況



図 完成箇所



図 屈折箇所



図 Cライン上の貴重種の保護



図 オガサワラトカゲは柵で止まる